

東京音楽大学リポジトリ

Tokyo College of Music Repository

2018年度の図書館展示とイベント

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京音楽大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1332

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



2018年度の図書館展示とイベント

1. 展示

(1) 開設の経緯

ケース展示と貸出展示を実施。

単発で企画した展示の他に、連続性を持ったテーマをシリーズ化したものも実施。

1-1. 音大生の本棚 2018

2018年5月17日（金）～2018年10月13日（土）

（貸出展示¹）

4月に入学した新入生を主な対象として、音楽に関する入門書や基本的な文献を中心に展示。

[展示内容]

- 読み物いろいろ
- 音楽と仕事
- 演奏家のメンタル・健康
- 楽譜を知る
- 西洋音楽史
- 楽器を知る
- 日本と音楽
- 伝統芸能

¹ 1階ロビーの特設書架でテーマに沿った資料を集め、ディスプレイ風に配架するもの。ポスター等の案内やわかりやすい見出しも設置している。

毎年定期的に開催している展示。今年度新しく選んだ資料と、前年度展示した資料から選んだ資料を展示した。講座ごとに担当の先生が提示してくださる推薦図書と重ならないように配慮した。

当館は、楽譜資料やAV等の音楽資料は閉架、音楽書の開架は3階といったように、学生の目にふれやすい所に資料がほとんどないため、新入生が図書館に来て最初に目に付く1階の、手に取りやすい棚に資料を集めた。

来年度以は新キャンパス開校するが、新入生は池袋キャンパスで授業が行われることが多いためさらなる内容の充実を図りながら、継続して展示する予定。



気軽に立ち寄れる1階の“本棚”に、音楽にかかわるいろいろな分野の本をピック・アップ。
ぜひ、あなたの「気になる」を見つけてみてください！

東京音楽大学附属図書館1階ロビー

1-2. ファクシミリ版シリーズ4「モーツァルトの自筆譜」

2018年5月1日（火）～2018年10月13日（土）

（ケース展示²）

普段目にすることが少ない作曲家自筆の楽譜のファクシミリ版を展示するシリーズ。

4回目となる今回はモーツァルト（Wolfgang Amadeus Mozart, 1756-1791）を取り上げた。多作なため、オペラ作品から展示を選んだ。自筆譜に関連する書籍や楽譜の貸出展示も同時に行った。

展示のサイト³では、オンラインで調べられるモーツァルトの楽譜や資料についてのリンク集も公開した。



ファクシミリ版シリーズ 4

**モーツァルト
の
自筆譜**

当館所蔵のファクシミリ版を定期的に展示・ご紹介していく「ファクシミリ版シリーズ」。

第4回目は、モーツァルトの自筆譜、オペラ作品を展示します。

普段 聴いたり歌ったりしている曲だけれど、
どんな筆致で書かれていたのだろう—??

ファクシミリ版展示が、作曲家を身近に感じるきっかけになればと思います。

※展示中も、通常通り貸出できます。

東京音楽大学附属図書館 1階ロビー

² ガラスのショーケース内に、説明書きとともに自筆譜やファクシミリ版等、貴重な資料を展示するもの。併せて関連の書籍等も近くの書架に配架している。

³ <http://tokyo-ondai-lib.jp/exhibition/>

1-3. 没後 100 年 孤独で孤高なドビュッシー

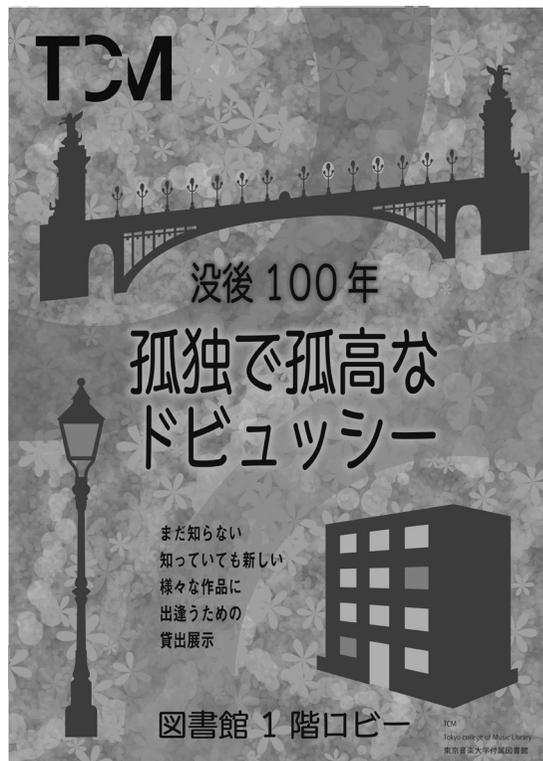
2018 年 10 月 15 日（月）～ 2019 年 3 月まで

（貸出展示）

2018 年は、ドビュッシー（Claude Achille Debussy, 1862-1918）の没後 100 年にあたる年であり、それを記念して展示を行った。

書籍はドビュッシーの人物に関するもの、作品に関するもの、同時代の作曲家によるドビュッシーについてのものを展示。楽譜と音源はドビュッシーのあまり知られていない作品やドビュッシーが亡くなったときに捧げられた作品を展示した。

同時期にケース展示でもドビュッシーの自筆譜展示を行った。



1-4. ファクシミリ版シリーズ5「ドビュッシーの自筆譜」

2018年10月15日(月)～2019年3月まで

(ケース展示)

同時期に開催した貸出展示「没後100年孤独で孤高なドビュッシー」とあわせて、ドビュッシーの自筆譜ファクシミリ版を展示した。



TCM

ファクシミリ版シリーズ5

ドビュッシー
の
自筆譜

作曲家の自筆譜ファクシミリを展示するシリーズ5回目は、
没後100年を迎えたドビュッシー。

- 『マンドリン』(1882)
- 『牧神の午後への前奏曲』(1892-94)
- 『喜びの島』(1904)
- 『映像 第1集』(1904-05)
- 『シランクス』(1913)

TCM
Tokyo College of Music Library
東京音楽大学付属図書館

図書館1階ロビー

1-5 貸出統計

期間	展示の種別	展示名称	展示タイトル数	期間中貸出のあったタイトル	期間中の総貸出回数	貸出ランキング
5月17日(木) ～ 10月13日(土)	貸出 展示	音大生の本棚 2018	75タイトル (和書69、 洋書6)	51タイトル	138回	1位(10回)『グラウト/パリスカ新西洋音楽史 / D.J. グラウト, C.V. パリスカ著; 上』 -- 2位(7回)『グラウト/パリスカ新西洋音楽史 / D.J. グラウト, C.V. パリスカ著; 中』 -- 3位(6回)『ジュリアードで実践している演奏者の必勝メンタルトレーニング / ドン・グリーン著』 -- 4位(5回)『「音大卒」の戦い方 / 大内孝夫著』; 『「音大卒」は武器になる / 大内孝夫著』; 『グラウト/パリスカ新西洋音楽史 / D.J. グラウト, C.V. パリスカ著; 下』; 『クラシックの真実は大作曲家の「自筆譜」にあり!: 音楽の大福帳 / 中村洋子著』; 『演奏者のためのはじめてのボディ・マッピング: 演奏もカラダも生まれ変わる / ナガイカヤノ著』 …(以下、省略)
5月1日(火) ～ 10月13日(土)	ケース 展示	ファクシミリ版 シリーズ4 「モーツァルトの 自筆譜・オペラ」	19タイトル (自筆譜ファク シミリ4、和書15) ショーケース内展示 の関連資料として近 くに開架展示	7タイトル	13回	(5回)『モーツァルトとオペラの政治学 / 三宅新三著』 -- (2回)『オペラは脚本(リブレット)から / 辻昌宏著』; 『オペラ魔笛のことが語れる本: オペラや映画を見るときに「あつ、そうなのか」モーツァルトとフリーメーソン 21世紀型モーツァルト論 / 金子一也著』 -- (1回)『ドン・ジョヴァンニ音楽的エロスについて / ゼーレン・キルケゴール著』; 『モーツァルト: "天才"の素顔とその音楽の魅力 / 音楽の友編』; 『モーツァルト: 作曲家の物語 / ひのまどか著』; 『ロココの裏の欲望: モーツァルトのオペラワールド / 永竹由幸著』;
10月15日(月) ～ 3月9日(土)	貸出 展示	没後100年 孤独で孤高な ドビュッシー	53タイトル (和書21、 楽譜21、CD11)	22タイトル	52回	1位(7回)『ドビュッシーとピアノ曲: 天才が名演奏家に直接託した技法と「こころ」の希有な記録 / マルクリット・ロン著』 -- 2位(4回)『ドビュッシー = Claude Debussy / 松橋麻利著』; 『ドビュッシー書簡集: 1884-1918 / フランソワ・ルシュール編』; 『伝記クロード・ドビュッシー / フランソワ・ルシュール著』 …(以下、省略)
10月15日(月) ～ 3月9日(土)	ケース 展示	ファクシミリ版 シリーズ5 「ドビュッシーの 自筆譜」	9タイトル (自筆譜ファク シミリ5、楽譜2、 洋書2) ショーケース内展示 の関連資料として近 くに開架展示	3タイトル	9回	(4回) Images : pour piano : 1re serie / Claude Debussy. (Collection de fac-similés de manuscrits de Claude Debussy) -- (3回) Preludes, book 1 : the autograph score / Claude Debussy (The Pierpont Morgan Library music manuscript reprint series) -- (2回) La flûte de Pan, ou, Syrinx : pour flûte seule (1913) / Claude Debussy (Flautissimo)

※ 2019年2月14日集計

2. イベント

図書館では、学生や地域の方々に図書館の所蔵資料を紹介すると共に、音楽や資料への理解をより深めることを目的として、国内外の講師を招聘して開催している。セミナーは入場無料。

2-1. ライブラリー・セミナー

当館のコレクションの一つ「バッハの神学文庫」の資料を用いて昨年度から始まった『マタイ受難曲』の連続講座が本年度も引き続き丸山桂介先生を講師として行われた。

なお、本シリーズは3年目となる今回でいったん終了するが、受講者から再開が要望されている。

バッハの神学文庫連続講座 —マタイ受難曲—

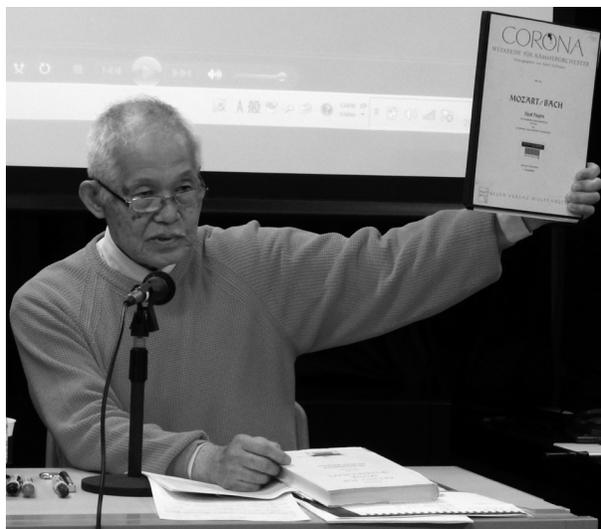
第7回 2018年6月2日(土)

第8回 2018年8月25日(土)

第9回 2018年12月15日(土)

場所：東京音楽大学附属図書館5階

講師：丸山桂介（音楽評論家・元東京音楽大学講師）



丸山桂介先生

2-2. レクチャーコンサート

2-2-1. バッハの神学文庫連続講座 —マタイ受難曲— 特別コンサート

『Le nuove musiche — 蘇るギリシアの詩神』

2018年8月25日(土) 16:00-

場所：東京音楽大学附属図書館1階ロビー

講義：丸山桂介

演奏：中丸知美(ソプラノ)、白井雅美(クラヴィコード)

ライブラリー・セミナーで行われた「バッハの神学文庫連続講座 —マタイ受難曲—」の第8回目の講義の後に、特別コンサート「Le nuove musiche — 蘇るギリシアの詩神」が行われた。演奏部分のネット配信を予定している⁴。



中丸知美(ソプラノ 左) 白井雅美(クラヴィコード 右)

⁴ 東京音楽大学附属図書館メディアサイト <http://tokyo-ondai-lib.jp/media> で配信予定。

プログラム

第1部 歌・カンタービレ解釈

1. カッチーニ『新音楽』条文解説と実演
2. フレスコバルディ・トッカータ序文解説
—実践と表現（内容と意図されたものについて）、17世紀イタリアのトッカータ様式—
3. フレスコバルディ以降のトッカータ・カンタービレ様式の広がりと言行
—フローベルガーからバッハまで—

中丸知美 (1) 白井雅美 (2,3)

第2部 歌とクラヴィコードによる演奏

1. トッカータ第1番 "トッカータ集 第1巻 (1637年, ローマ)" / フレスコバルディ
Toccata prima "Toccate I (1637, Roma)" / Girolamo Frescobaldi (1583-1643)
2. 日がな一日涙にくれて "歌曲集 第3巻より" / ディンディア
Tutto il di piango "Musiche, libro 3o" / Sigismondo d'India (ca. 1580-1629)
3. トッカータ第2番 "トッカータ集 第1巻 (1637年, ローマ)" / フレスコバルディ
Toccata seconda "Toccate I (1637, Roma)" / Frescobaldi
4. 日がな一日涙にくれて "新音楽と新表現法" / カッチーニ
Tutto 'l di piango "Nuove musiche e nuova maniera di scriverle"
/ Giulio Caccini (1551-1618)

-- *** --- --- *** --- --- *** --- --- *** --- --- *** ---

5. ラメンタスィオン (皇帝フェルディナンド 3 世の悲しい死に寄せる哀悼曲)

/ フローベルガー

Lamentation (Lamentation sur la mort de Ferdinand III), FbWV 633

/ Johann Jacob Froberger (1616-1667)

6. 主よ、早く私を救いに来て下さい "小宗教的コンチェルト集 第 1 部 " / シュッツ

Eile mich,Gott, zu erretten "Kleine geistliche Konzerte, 1. T", SWV 282

/ Heinrich Schütz (1585-1672)

7. 私は何時も主を誉め称えます "小宗教的コンチェルト集 第 2 部 " / シュッツ

Ich will den Herren loben allezeit "Kleine geistliche Konzerte, 2. T", SWV 306

/ Schütz

8. プレリユード第 7 番 "クラヴサン奏法 " / クーブラン

Septième Prelude "Art de toucher le clavecin" / François Couperin (1668-1733)

9. ファンタジア (半音階的幻想曲) / バッハ

Chromatische Fantasie, BWV 903 / Johann Sebastian Bach (1685-1750)

中丸知美 (2, 4, 6, 7) 白井雅美

2-2-2. ルネサンス時代に花開くリュート曲

2018年12月22日(土) 18:00-

場所：東京音楽大学附属図書館1階ロビー

演奏：水戸茂雄(リュート、ビウエラ)、久津見れい(ソプラノ)



久津見れい(ソプラノ 左) 水戸茂雄(リュート 右)

プログラム

1. 宗教音楽 ビウエラ

ベネディクトゥス：ミサ めでたし海の星 / エンリケス・デ・バルデラーバノ

Duo Benedictus : Missa Ave maris stella (Silva de sirenas)
/ Enríquez de Valderrábano (1500-1557)

主の栄光は天地に満つ / エンリケス・デ・バルデラーバノ

Duo Pleni sunt (Silva de sirenas) / Enríquez de Valderrábano (1500-1557)

2. 舞曲 リュート

ウィンター夫人のジャンプ / ジョン・ダウランド

Mrs. Winter's Jump / John Dowland (1563?-1626)

パドアーナ (パヴァーナ) / ピエール・ファレイズ編

Paduana (Pavana) (Hortus musarum) / ed. by Pierre Phalèse (b. ca. 1510)

ガリアルド / ピエール・ファレイズ編

Gallarde (Hortus musarum) / ed. by Pierre Phalèse (b. ca. 1510)

バスダンス "ラ・マグダレーナ" ; バスダンス、ルクーブ、トルディオン

/ ピエール・アテナン編

Bass dance "La Magdalena" ; Bass dance, Recoupe, Tordion

/ ed. by Pierre Attaignant (fl. 1528-1549)

3. ポリフォニー音楽 リュート

リチェルカーレ 84 / フランチェスコ・ダ・ミラノ

Ricercar 84 / Francesco da Milano (1497-1543)

リチェルカーレ 33 / マルコ・ダル・アクイラ

Ricercar 33 / Marco Dall'Aquila (b. ca. 1488)

ガリアルド / ピエール・ファレイズ編

Gallarde (Hortus musarum) / ed. by Pierre Phalèse (b. ca. 1510)

例外のビウエラ曲

ファンタシーア 11 / ルイス・ミラン

Fantasia XI (Maestro) / Luis Milán (16th cent)

4. 変奏曲 リュートとビウエラ

パスメーズと変奏 / アドリアン・ル・ロワ

Passemeze, plus diminuée (Briefe and easy instruction to learne the tablature)

/ Adrian Le Roy (ca. 1520-1598)

牛を見張れによる4つのディフェレンシ阿斯 / ルイス・デ・ナルバエス

Cuatro diferencias sobre Guardame las vacas (Delphín de música)

/ Luys de Narváez (16th cent)

~~ -+- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~- +- ~-

5. 歌からの編曲 リュートとビウエラ

花咲く日々に生きる限り / クロダン・ド・セルミジ ; ピエール・アテナン編曲

Tant que vivray en eage florissant / Claudin de Sermisy (ca. 1490-1562) ; arr.

by Pierre Attaignant (fl. 1528-1549)

皇帝の歌 / ルイス・デ・ナルバエス

Canción del Emperador (Delphín de música) / Luys de Narváez (16th cent)

6. 歌曲 リュートとビウエラ

ビウエラ歌曲 (Canto y Vihuela)

アンテケラよりモローは去る / クリストバル・デ・モラレス ; ミゲル・デ・フエンリャナ編曲
De Antequera sale el moro / Cristóbal de Morales (ca. 1500-1553) ; arr.
by Miguél de Fuenllana (16th cent)

リュート歌曲 (Lute song)

さあ もう一度 / ジョン・ダウランド
Come again (Songs or ayres, 1st book) / John Dowland (1563?-1626)

エール・ド・クール (Air de Cour)

何と勝ち誇った愛の神が / ピエール・ゲドロン
Quoy? Faut-il donc qu' Amour / Pierre Guédron (ca. 1565-ca. 1621)

3. 終わりに

図書館の広報活動として始めた展示やイベントに関しては、2019年度開校予定の新キャンパス開校後に改めて検討したいと考えている。